

研究協力のお願い

この度、当院において下記の内容にて観察研究を行うことになりました。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科大学 内科学 I

高松内科クリニック

記

研究課題名：亜急性甲状腺炎における患者背景および臨床像の多様性

研究の意義：亜急性甲状腺炎の臨床像の特徴を明らかにすることにより、初診の時点での診断性の向上、早期治療介入が可能となることが期待されます。

研究の目的：本研究は、亜急性甲状腺炎患者の患者背景、臨床経過を解析し、その原因を考察することで、病態の多様性を追究します。さらに、新しい観点からの診断および適切な治療を考案することを目的としています。

研究の対象：高松内科クリニックにて平成 16 年 4 月 1 日～平成 29 年 11 月 12 日の間に亜急性甲状腺炎もしくは亜急性甲状腺炎の疑いと診断された方

研究の方法：紙カルテより年齢、性別、発症時期、疼痛・発熱の有無、疼痛部位、当院で施行した既存の血液検査項目 (FT4、FT3、TSH、血中サイログロブリン、白血球数、CRP、甲状腺自己抗体)、甲状腺超音波検査所見 (腫大程度・低エコー領域)、治療内容 (ステロイド投与量・投与期間)、治癒までに要した期間のデータを抽出、解析することで、亜急性甲状腺炎の特徴を検討します。当院でのデータは大阪医科大学内科学 I 研究室にて解析し、既存情報は本院にて匿名化し、大阪医科大学にて保管します。

※ご自身の既存情報を研究に使用させて頂くことに対して同意頂けない場合は、下記の申し出先までご連絡ください (代諾者からの申し出も受付いたします)。申出された場合は、当該研究への利用はいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、データを研究結果から削除することができかねますので、予めご了承ください。

研究期間：平成29年11月13日～平成32年11月12日

個人情報の内容およびその利用目的、開示等の求めに応じる手続き：

被験者の個人情報の取り扱いについては、十分に注意を行い、論文投稿や学会発表等では、個人情報が特定されないようにします。また、当該被験者より個人情報の開示の求めがあった場合は、すみやかに開示を行います。

個人情報の取り扱いに関する相談窓口：下記に記載の問い合わせ先にご連絡ください。

利益相反について：

本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元することで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連して研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保、または確保していることを社会に適切に説明する必要があります。本研究は、本学の規程に基づき、研究者が大阪医科大学利益相反委員会に必要事項を申請し利益相反についての審査を受けた上で、実施されております。本研究は、大阪医科大学内科学Iの講座研究費および奨学寄附金より支出いたします。

研究者名

研究責任者：大阪医科大学 内科学I 教授 今川 彰久

主任研究者：大阪医科大学 内科学I 助教（准）

高松内科クリニック 非常勤医師 酒井 聡至

分担研究者：大阪医科大学 内科学I 講師 寺前 純吾

大阪医科大学 内科学I 非常勤講師

高松内科クリニック 非常勤医師 谷本 啓爾

大阪医科大学 内科学I 大学院生

高松内科クリニック 非常勤医師 稲葉 惟子

共同研究機関 高松内科クリニック 院長 高松 順太

問い合わせ、参加拒否の申し出先：〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科大学 内科学 I

TEL 072-683-1221(代表) 内線 6707

高松内科クリニック

TEL 072-691-0121

担当：稲葉 惟子